

# 一般社団法人シェア・ザ・プラネット

## 第八期年次（2021年10月～2022年9月）活動報告

### はじめに

第八年次には、組織内の規約の整備ならびに中期ビジョンの策定、また専従職員の雇用など組織の基盤づくりに注力した1年であった。また採択を受けてから実施に至るまで日数を要していた JICA 草の根パートナー事業も6月末にようやく開始することができた。またバングラデシュのパートナーNGOのネットワークやWebサイトの構築など、活動もより広がりを見せている。その中、6月中旬から季節外れの大洪水によってバングラデシュ北東部が被害を受けたことから緊急救援活動を行ったが、資金はすべてバングラデシュ国内で賄うなどバングラデシュ市民社会への情報発信にも努めた。

### 活動報告

#### I. 国際協力活動を実践する個人・団体・企業への助言・支援・人材派遣を含む人材育成・組織強化

##### （企業）

- バングラデシュで JICA 農業インフラ事業を受託しているコンサルタント会社や SHEP（市場志向型農業振興）アプローチを実施するコンサルタント会社との情報共有を図った。また、バングラデシュ国内で種子販売を行っているシュープリームシードカンパニーやマリックシードなどとも協働の可能性を模索するため会社訪問を実施した。

##### （NGO）

- JICS の支援事業や JICA での研修に参加した団体への個別アドバイスをを行った。
- 埼玉 NGO ネットワーク参加団体に対しても個別に助成金の申請書の書き方についてアドバイスするとともに、組織としての課題への考え方についてアドバイスした。
- JANIC の実施するベトナム調査に協力した。

##### （ドナー申請）

- 地球環境基金のエージェント（代理人）とし2案件（ASED HABIGONJ（3年次）、PSUS（2年次）また、シェア・ザ・プラネットとして（パートナー：BARCIK（2年次））を実施した。
- 上述の NGO パートナーと BRRI を含めた「気候変動適応化農業ネットワーク（CCAAN）」を結成し、インド西ベンガル州での取り組みと併せ両国の取り組みを学びあうための交流企画を「トヨタ財団」に提出し、採択された（2022年11月開始予定：2年間）。

## II. 国際相互理解の促進及び社会貢献活動における実践と調査研究及び経験交流

- 特定非営利活動法人埼玉 NGO ネットワークに団体会員として参画し、副代表理事として参加した。
- 代表理事は一般社団法人アジア自立支援機構の理事を継続している。
- 2022年6月に起きたバングラデシュ北東部での洪水災害についてパートナー団体によるインターネットなどを使ってローカルでの募金活動を実施し、日本からの支援金の送金が行わなかった。現地での活動資金はすべてパートナー団体の会計管理となっている。

## III. 地球市民社会の実現に向けた教育・学習及び啓発

- インターン生2名を受け入れ、広報資料の作成とイベント企画などへの実施を企画し、2回のイベントで子どもたちにワークショップを通じ活動を紹介した。また、現地での様子や会の活動紹介のための動画を制作した。
- 代表理事は大学での非常勤講師を務めたが、後半業務との兼ね合いですべて辞めることとした。

## IV. 前各号に掲げる事業に附帯又は関連する事業

- かわごえ国際交流フェスタにオンライン出展した。
- 一般財団法人日本国際協力システム（JICS）が行う「JICS NGO 支援事業」の活動報告会に参加するとともに、助成事業を行う団体を訪問しアドバイスを行った。
- NGO・外務省定期協議会の政策提言のコーディネーターとして協議会の運営にかかわった（～2022年3月まで）。
- NGOJICA 協議会のコーディネーターを新たに務めることとなった（2022年4月から）。

## 財務報告

- I. 財務状況の健全化に向け外部ドナーへの申請などを積極的に行った。結果、長期借入金（200万円）を完済した。2020年度の収支は約29万円の黒字となった。

以上

## 2021 年度 活動計算書(報告書)

2021 年 10 月 1 日～2022 年 9 月 30 日

一般社団法人シェア・ザ・プラネット

(円)

	科目		金額	
<b>1.経常増減の部</b>				
<b>(1)経常収益</b>				
受取会費				
	受取会費	21,000		
	受取会費計		21,000	
受取助成金等				
	受取助成金	11,937,000		
	- 環境再生保全機構 地球環境基金			
	- 彩の国さいたま国際協力基金	270,000		
	- 庭野平和財団	162,000		
	- その他助成金(地球環境基金)	1,050,005		
	- その他助成金(さいたま国際協力)	16,406		
	- その他助成金(JICA 海外)	574,222		
	受取助成金等計		14,009,633	
事業収益				
	受託料収益	6,500,000		
	- JICA 海外事業			
	コンサル料収益	154,500		
	講師料収益	10,000		
	企画運営料収益	7,860		
	事業収益計		6,672,360	
その他収益				
	受取利息	36		
	その他収益計		36	
	<b>経常収益合計</b>		<b>20,703,029</b>	
<b>(2)経常費用</b>				
事業費				

<b>【人件費】</b>			
	役員報酬	1,750,000	
	給料手当	1,685,000	
	法定福利費	337,729	
	福利厚生費	20,266	
	通勤交通費	182,400	
	<b>【人件費計】</b>		3,975,395
<b>【その他費用】</b>			
	諸謝金	6,000	
	旅費交通費	179,236	
	海外出張旅費(非課税)	2,462,422	
	会議費	60,675	
	交際費	84,570	
	交際費(非課税)	10,539	
	通信費	279,133	
	荷造運送費	5,006	
	広告宣伝費	3,344	
	消耗品費	167,424	
	新聞図書費	10,604	
	研修費	20,000	
	海外プロジェクト費(非課税)	12,350,977	
	賃借料	200	
	水道光熱費	29,203	
	支払地代家賃	504,000	
	諸会費	84,400	
	支払手数料	69,135	
	租税公課	5,200	
	雑費	36,560	
	<b>【その他費用計】</b>		16,368,628
	事業費計		20,344,023
	<b>経常費用合計</b>		<b>20,344,023</b>
	<b>当期経常増減額</b>		<b>359,006</b>
<b>2.経常外増減の部</b>			
<b>(1)経常外収益</b>			
	税引前当期正味財産増減額		359,006

	法人税、住民税及び事業税	70,000	
	<b>当期正味財産増減額</b>		<b>289,006</b>
	前期繰越正味財産額		859,208
	次期繰越正味財産額		1,148,214

## 2021年度 貸借対照表

2022年9月30日現在

一般社団法人シェア・ザ・プラネット

(円)

科 目		金 額	
資産の部			
流動資産			
	普通預金	1,263,571	
	前払費用	13,600	
	流動資産合計		1,277,171
固定資産			
	固定資産合計		0
	資産合計		1,277,171
負債の部			
流動負債			
	未払金	128,957	
	流動負債合計		128,957
固定負債			
	固定負債合計		0
	負債合計		128,957
正味財産の部			
	前期繰越正味財産		859,208
	当期正味財産増減額		289,006
	正味財産合計		1,148,214
	負債及び正味財産合計		1,277,171

2021年度 財産目録  
2022年9月30日現在  
一般社団法人シェア・ザ・プラネット

(円)

科 目	金 額		
資産の部			
流動資産			
普通預金	1,263,571		
--ゆうちょ銀行 166	413,001		
--三菱東京UFJ銀行	842,069		
--ゆうちょ銀行 563	8,497		
--三井住友銀行	4		
前払費用	13,600		
流動資産合計		1,277,171	
固定資産			
固定資産合計		0	
資産合計			1,277,171
負債の部			
流動負債			
未払金	128,957		
流動負債合計		128,957	
固定負債			
固定負債合計		0	
負債合計			128,957
正味財産合計			1,148,214